

12月13日にプランクトン調査（播磨灘）を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・貝毒の原因となるアレキサンドリウム属の出現は確認されませんでした。
- ・魚毒性を示す有害プランクトンの出現が確認されましたが低密度でした。
- ・コシノディスカスの出現が確認されました。
- ・ユーカンピアの出現が確認されました。

表：2023年12月13日 プランクトン調査結果（海水1ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	アレキサンドリウム属	シャットネラ属	カレニア・ ミキモトイ	コシノディスカス属	ユーカンピア
千振	0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
	10	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
妙見	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
KA1	0	0.0	0.1	0.0	1.6	0.0
	10	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5
KA2	0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
	10	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
KA3	0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.7
	10	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
KA4	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5
KA5	0	0.0	0.0	0.0	0.1	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.2	0
KA6	0	0.0	0.0	0.0	0.2	8.7
	10	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
K1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0
K2	0	0.0	0.0	0.0	0.2	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.1	0
T3	0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
	10	0.0	0.0	0.0	0.6	0
屋島湾	0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8
	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0

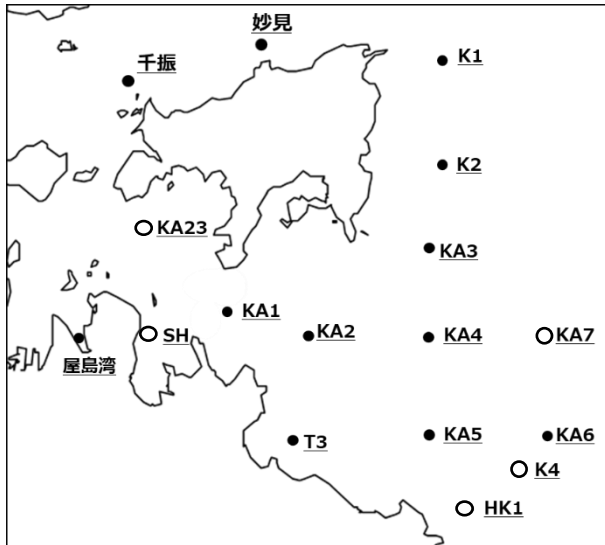
\* 試水は200mLを10mLに濃縮して、そのうち1mL中のプランクトンを計数しています(20倍濃縮)。

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:龍満・中井) 電話 087-832-3471

図：調査定点（播磨灘：貝毒プランクトン調査）



\* 貝毒プランクトン調査は合計 10 定点 (KA1~6、K1、2、T3、屋島湾)で行っています。

【参考】表：香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
<b>At complex (旧) <i>A. tamarense</i></b> (旧称)アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
<b>At complex(旧) <i>A. catenella</i></b> (旧称)アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL